

一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動)の標準実技(平成25年3月2日現在)

A: 救助者(発見者) B: 協力者・救助者(AED手配) C: 協力者(119番通報) D: 救急隊

手当の順序	観察と確認のための標準的な呼称	観察と確認、手当の動作
傷病者の発生	A 「人が倒れています。」	立ち止まったまま傷病者を指さす。
周囲の状況の観察	A 「周囲の観察。」 「危険なし。」	立ち止まったまま、周囲を指さしながら確認する。
傷病者の観察	A 「全身の観察。」 「大出血等なし。」	近づきながら、傷病者の全身状態(頭から足先まで指差しながら)を見る。
意識の確認	A 「意識の確認。」 A 「もしもし、大丈夫ですか。」×3 「意識なし。」	傷病者の肩口に両膝をついて位置する。(足を崩さない姿勢で位置する。) 軽く肩をたたきながら、耳元で声をかける。
協力者を求める 119番通報 AEDの手配	A 「誰か来てください。」 A 「あなたは119番通報をお願いします。」 C 「はい。」 A 「あなたはAEDをもってきてください。」 B 「はい。」	上体を起こし、大きな声で協力者を求める。 協力者には具体的に指示をする。
呼吸をみる (心停止の判断)	A 「呼吸の確認。」 「普段どおりの呼吸なし。」	傷病者の頭側斜め上から俯瞰的に胸部と腹部の動きを観察する。 (10秒以上かけない。)
胸骨圧迫 30回		傷病者の胸の真ん中(胸骨の下半分)に手掌基部を置き、その手の上に他方の手を重ねる。 垂直に傷病者の胸が少なくとも5cm沈み込む程度圧迫する。 テンポは毎分少なくとも100回のテンポで30回圧迫する。
気道確保		呼吸吹き込み用具を準備して傷病者に装着する。 頭部後屈あご先挙上法を行う。
人工呼吸 2回		胸が上がるのが見てわかる程度1秒かけて息を吹き込む。
AED到着	B 「AED持ってきました。」 A 「心肺蘇生を替わってください。」 B 「はい。」	Bに心肺蘇生が中断しないように交替する。
<AEDの準備> AED作動		AEDの電源を入れる。
AED到着	B 「AED持ってきました。」 A 「心肺蘇生を替わってください。」 B 「はい。」	Bに心肺蘇生が中断しないように交替する。
<AEDの準備> AED作動	A 「衣服を取り除きます。心肺蘇生は継続してください。」 A 「よし。」	AEDの電源を入れる。 AEDの音声指示を聞いてから、Bが行っている心肺蘇生を中断することなく傷病者の前胸部の衣服を取り除く。 AEDパットを貼り付ける胸の状態を指さし確認する。 電極パッドを袋から取り出しパットの図を確認する。 電極パッドを胸部に貼り付ける。 コネクターをAEDに差し込む。
心電図解析の音声 <解析開始> <ショック必要と解析>	A 「心肺蘇生を中断してください。」 A 「みんな離れてください。」	Bが行っている心肺蘇生を中断するよう指示する。 Bと周囲の人に、傷病者から離れるよう指示する。
<充電開始> <ショック実施>	A 「みんな離れてください。」 A 「ボタンを押します。」	Bと周囲の人に、傷病者から離れるよう指示する。 誰も傷病者に触れていないことを確認しながらショックボタンを押す。
胸骨圧迫30回 人工呼吸 2回	A 「心肺蘇生を再開します。」	心肺蘇生を再開する。 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のサイクルを繰り返す。
2分間		
心電図解析の音声 <解析開始> <ショック不要と解析>	A 「みんな離れてください。」 A 「心肺蘇生を替わってください。」 B 「はい。」	心肺蘇生を中断する。 Bは胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。
胸骨圧迫30回 人工呼吸 2回		
医師または救急隊へ	D 「救急隊です。あとは私たちが救助します。」 A 「お願いします。」	